

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

学校名: みやき町立三根東小学校

1 前年度 評価結果の概要
令和2年度の評価結果については、主に以下のような成果や課題があった。
○コロナ禍で成果目標についての具体的な取組が実施できない項目もあったが、取り組める内容については、きちんと全職員で行ってきた。そのため、学校関係者評価においては、マイナスな評価はほとんどなかった。これからも職員の協働体制で、「チーム東小」として、教育活動を進めていく。
○「光るところ見つけカード」は、児童間だけでなく、職員や保護者からもよいところを見つけてもらいカードに書かれることで、自己肯定感の意識の高揚につながった。
●次年度は、ゲームなどをして、夜遅くまで起きている就寝時刻のことが話題になったので、SNSの使い方も含め、保護者に意識付けを図る取組を行いたい。
●開発的生徒指導の理念を全職員が理解し、委員会活動や係活動などにおいて、「出番・役割・承認」取組の充実を図り、児童一人一人の自己肯定感を高め、主体的・実践的な態度を育成する。

2 学校教育目標
キャッチフレーズ 「夢にチャレンジ東っ子」
学校教育目標 「元気いっぱい笑顔あふれる」児童の育成
～ 自分大好き、友だち大好き、学校大好きな子供 ～

3 本年度の重点目標
1 心の安心を育む学校風土の確立と児童の自己肯定感の向上(自分づくり)
2 豊かな体験活動の充実と地域を生かした教育活動の推進(仲間づくり)
3 確実な学力向上と主体的・対話的で深い学びの推進(学びづくり)

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目
評価項目: 学力の向上, 心の教育, 健康・体づくり, 業務改善・教職員の働き方改革の推進
重点取組: 全職員による共通理解と共通実践, 児童の基礎学力の定着を図る, 児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動, いじめの早期発見、早期対応体制の充実, 児童の自己肯定感の向上, 「望ましい生活習慣の形成」, 「運動習慣の改善」, 業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減, 教職員の働き方改革の推進
具体的取組: 教職員間でのマイプランの共有及び校内研修等による取組を促進する。、色カードで自分の立場を明確にし、話し合いに臨む。、算数音読テストに定期的に取り組む。、

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
評価項目: ◎志を高める教育の推進, ○開かれた学校づくり
重点取組: ◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進, ○地域連携、幼保小中連携の推進
具体的取組: ・全ての教科等、学校行事等を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設け、キャリアパスシートに率とめる。、いのちと夢のコンサートで命や夢に関する学級での取組を実施したり、6年児童に「夢の教室」の実践を行ったりして、夢をもつこと、それに向けて努力することの大切さを理解させる。、1つの行事の案内を複数の場面で、期日や内容の事前周知を図る。、学校ホームページの更新を定期的に行い、教育活動の様子を随時伝える。、三根中学校生徒のあいさつ運動や「ようこそ先輩」などの取組を行い、実践を通して、児童・生徒の自己肯定感を上げる。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望
・コロナ禍で成果目標について修正を行った項目もあったが、全職員で取り組みを行ってきたことに対しては、学校関係者評価において高い評価をいただいた。次年度も職員の協働体制を大切に「チーム東小」として、教育活動を進めていきたい。
・「光るところ見つけカード」は、児童間だけでなく、職員や保護者からもよいところを見つけてもらいカードに書かれることで、自己肯定感の意識の高揚につながった。
・11月の「いのちと夢のコンサート」や6年生の「夢の教室」ANAキャリア教育」は、講師からの歌やメッセージを聴いたり、「マナー講座」など体験できたこと、「いのちや夢」について考える貴重な機会となった。さらに、校長から「夢の実現」についての授業を受け、6年生にとって「夢を語る場」をもたせることができた。
・2月の「いのちを考えると」の集会で、6年生を中心に命を考えるプロジェクトに取り組む、「いのち」について全校児童で考えることができたのは大きな成果であった。
・SNSの使い方について、家庭できまりを考えるなど取組はよくなっているが、これからも継続した指導が必要である。